

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末3月31日 中間9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号(〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(通話料無料)
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.dnt.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部(証券コード4611)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

>>ホームページ「IR情報」のご案内

<http://www.dnt.co.jp/japanese/ir/>



当社ホームページ「IR情報」は経営方針や財務状況等の情報をタイムリーに提供しているサイトですので、ぜひご利用ください。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

第133期中間報告書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 27 年 9 月 30 日まで

DNT
DAI NIPPON TORYO

大日本塗料株式会社

持続的成長力と
グローバル展開力を
持つ企業への飛躍を目指し、
グループを挙げて
取り組みます。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業利益の改善や設備投資の持ち直しが見られ、景気は緩やかな回復基調をたどりました。一方で消費マインドには停滞感が残り、新興国にも景気減速が見られるなど、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況のもと、新中期経営計画の2年目にあたる本年度は「グループ業績を着実に成長軌道に乗せ、最終年

度に繋げる期」と位置づけ取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は378億1千9百万円(前年同四半期比 7.7%増)、営業利益は27億3百万円(同 9億4千6百万円増)、経常利益は26億3千9百万円(同 9億3千3百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億9千4百万円(同 3億2千9百万円増)となり、営業利益と経常利益は上半期の最高益を更新する決算となりました。ここまでのところ業績は極めて順調に推移しており、通期ベースで3年連続の最高益更新が充分視野に入る状況となっております。

本年6月より「コーポレートガバナンス・コード」の適用が開始されたことを踏まえ、当社は、同10月29日「コーポレートガバナンスに関する基本方針」を策定し、公表いたしました。本基本方針に定める事項の実践を通して、健全で持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指して取り組んでまいり所存です。

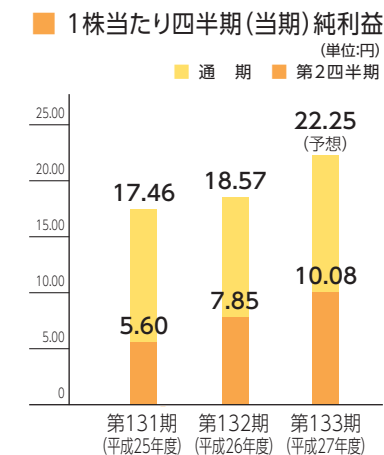
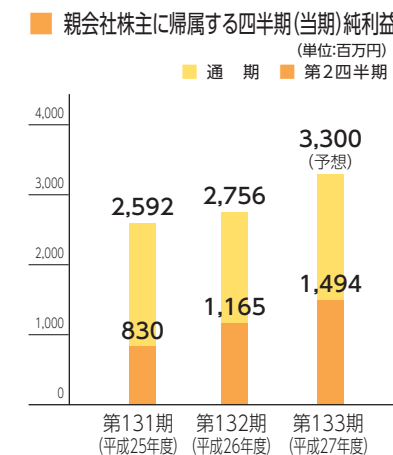
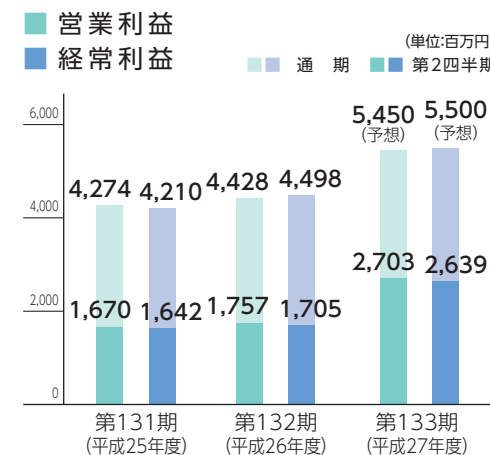
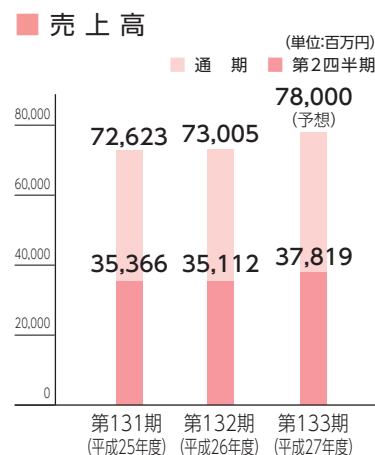
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月



代表取締役社長
い わ さ と し じ ろ う
岩 浅 壽 二 郎

財務ハイライト

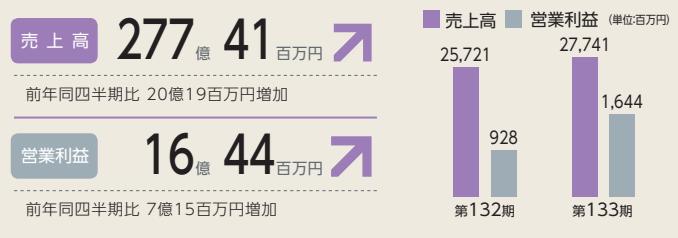


Financial Highlights

※[企業結合に関する会計基準]等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としており、前連結会計年度までの四半期(当期)純利益についても科目名を統一しております。

国内塗料事業

国内塗料事業では、市況が低迷する中、主力の構造物分野における塗料の出荷が順調に推移し、また、建築分野における塗替需要等が好調であるほか、粉体塗料製造会社の寄与もあり、増収となりました。利益面では、高付加価値品の拡販や経費削減に努めた結果、大幅増益となりました。



昭和63年に開通した本州と四国を結ぶ「瀬戸大橋」には、メンテナンス工事に、当社の高耐久性ふっ素樹脂塗料「VフロンSQスマイル」が塗装されています。



▲下津井瀬戸大橋



▲下津井瀬戸大橋

海外塗料事業

海外塗料事業では、東南アジア地域において販売量が若干減少したものの、円安の影響もあり、また、中国では構造物分野の販売が伸長し、メキシコでは自動車部品用塗料が堅調なことから、増収となりました。更に、利益面では、原材料費低減効果により増益となりました。



平成18年10月操業。日系メーカー向けに自動車部品・プラスチック塗料、金属焼付塗料を製造販売。日系顧客向けを中心に更なる顧客対応力強化を図ると共に、当社の強みである重防食塗料分野にも注力してまいります。



▲迪恩特塗料(上海)有限公司

照明機器事業

照明機器事業では、小売業界の新規出店や改装需要が増加するなど前年度末から好転しつつある地合いを受け、LED部門が伸び、増収となりました。一方、利益面では、新基幹システムの導入に伴うコスト増により減益となりました。



京都国立博物館 平成知新館は、国宝や重要文化財を含む様々な文化財を展示する為の施設として建設されました。1階彫刻展示室の壁面照明や2、3階の光天井などにDNライティング(株)のLEDシームレス器具が使用されています。



▲京都国立博物館 平成知新館(1階彫刻展示室)
照明計画：谷口建築設計研究所、岩井達弥光景デザイン
写真提供：(株) YAMAGIWA

2、3階の光天井

蛍光色材事業

蛍光色材事業では、国内においてヘリサイン需要やテーマパーク用塗料需要を獲得したものの、海外での蛍光塗料需要が低調に推移し、減収となりました。一方、利益面では、経費削減に努めた結果、前年並みの水準を確保しました。



当社グループのシンロイヒ(株)は鮮明で高い視認性がある蛍光色材を主に取り扱い、防災用途へ積極的に展開しています。また、顔や手など素肌に直接塗ることができる蛍光フェイスペイントを発売しました。



◀三鷹消防署ヘリサイン



▼蛍光フェイスペイント

その他事業



新生瓦からトタン屋根までをカバーする 「リフレッシュシリコン EXTRA」を新発売

震災以降、プレハブ住宅の屋根はより軽量化が進み、その殆どが無機系セメントを主とした「新生瓦」となっています。

現在、屋根材の色替えや塗り替えには水系塗料が主流となっています。しかし、水系では紫外線や酸性雨に日々晒されている屋根に要求される耐候性や耐久性に限界があるため、光沢の低下（色褪せ）や汚れ、さびやかび、藻の発生、はがれなどを完全に防ぐことができず、塗り替えなどのメンテナンス周期が短くなるを得ませんでした。

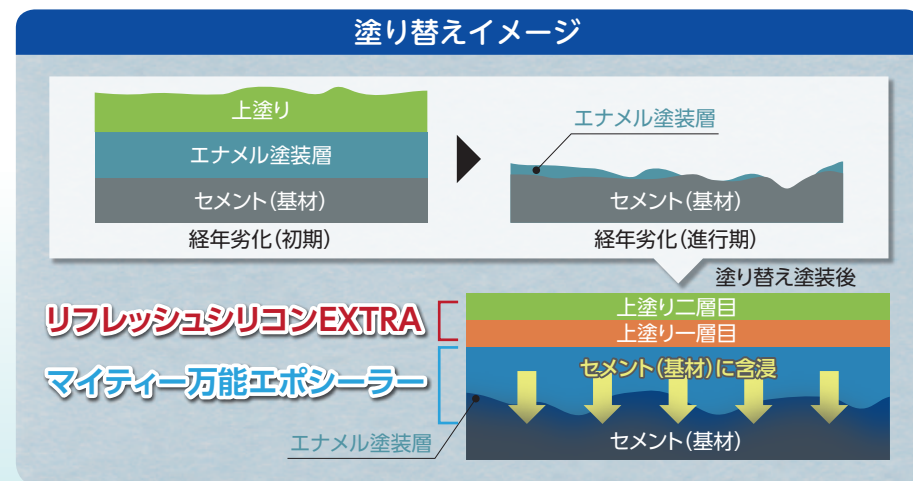
こうした問題をトータルに解決することを見据え、新しく開発したのが弱溶剤形二液シリコン樹脂塗料「リフレッシュシリコンEXTRA」です。

同製品は揮発性有機化合物（VOC）を大幅に削減した環境負荷低減形の屋根材塗り替え塗料であり、従来のふっ素樹脂塗料と同等以上の耐候性と耐久性を備えているだけでなく、下塗りに弱溶剤形二液エポキシ樹脂シーラー「マイティー万能エポシーラー」（平成25年3月発売）を併用することで下地（基材）の表層強化と安定した付着力をもたらします。それによって形成される塗膜は独特の光沢感を生み、鮮やかな発色で屋根材に欠かせない美観を長期間保持することが可能となります。また、低汚染性による経年の汚れやさび・はがれの発生



を効果的に防ぐほか、特殊な防腐剤の配合は温暖な地域におけるかびや藻など屋根材の劣化にもつなげる微生物の繁殖を抑制します。

近年、戸建て住宅では軽量の新生瓦が多く採用されていますが、「リフレッシュシリコンEXTRA」は新生瓦だけでなく、寒冷地に広く普及しているトタン屋根に対しても同等の塗料特性を発揮し、豊富なカラーサンプルの展開と合わせて顧客の支持を獲得し、市場の拡大をめざした新製品です。



JR KYUSHU SWEET TRAIN「或る列車」に 当社のポリウレタン樹脂塗料が採用

平成27年8月8日より運行を開始した九州旅客鉄道株式会社の豪華観光列車、JR KYUSHU SWEET TRAIN「或る列車」の外装塗装に当社の高耐候性ポリウレタン樹脂塗料が採用されました。

明治39年（1906年）、当時の九州鉄道がアメリカのブリル社に発注し、当時日本国内で最も豪華な設備を備えた客車として誕生したものの、明治40年（1907年）に九州鉄道は国有化され活躍する機会がなく“幻”の客車となりました。この幻の客車が約100年の時を超えて蘇ったのは、鉄道模型の神様といわれた故・原信太郎氏が作成した、“幻”の豪華客車、通称「或る列車」の模型を基に、ドーンデザイン研究所の水戸岡鋭治氏のデザイン・設計によるものです。



▲JR KYUSHU SWEET TRAIN「或る列車」



▲JR KYUSHU SWEET TRAIN「或る列車」

また、客室では世界的にも評価の高い、レストラン「NARISAWA」のオーナーシェフ・成澤由浩氏がプロデュースするスイーツコースを楽しめるとあって至福のデザイン&ストーリー列車として、大変ご好評です。

車体のカラーリングは水戸岡鋭治氏の提案により、外面・上面には超粗めのゴールドメタリック色、ドア部は漆黒みのあるメタリック系のブラックに決定されました。

今回採用された「Vトップ車輻用ゴールド」に関しては、鉄道車輛・鉄道関連部品に多数実績があり、耐候性に著しく優れ、また濃彩ソリッド色から多数のメタリック色まで色出しが可能な点が評価されたものであり、黄金の豪華列車を美しく輝かせています。

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期末 平成27年9月30日現在	前期末 平成27年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	32,997	32,458
固定資産	36,188	36,794
有形固定資産	23,903	24,271
無形固定資産	762	716
投資その他の資産	11,521	11,805
資産合計	69,185	69,252
(負債の部)		
流動負債	32,381	33,202
固定負債	7,968	7,608
負債合計	40,350	40,811
(純資産の部)		
株主資本	21,254	20,455
その他の包括利益累計額	5,593	6,018
新株予約権	20	—
非支配株主持分	1,967	1,967
純資産合計	28,835	28,441
負債純資産合計	69,185	69,252

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「少数株主持分」を「非支配株主持分」としてしております。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期(累計) 平成27年4月1日から平成27年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成26年4月1日から平成26年9月30日まで
売上高	37,819	35,112
売上原価	27,085	25,550
売上総利益	10,734	9,562
販売費及び一般管理費	8,030	7,805
営業利益	2,703	1,757
経常利益	2,639	1,705
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,494	1,165

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としてあり、前連結会計年度までの当期純利益についても科目名を統一しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期(累計) 平成27年4月1日から平成27年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成26年4月1日から平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,897	1,365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△495	△901
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,181	△155
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	215	290
現金及び現金同等物の期首残高	2,444	2,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,659	2,670

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

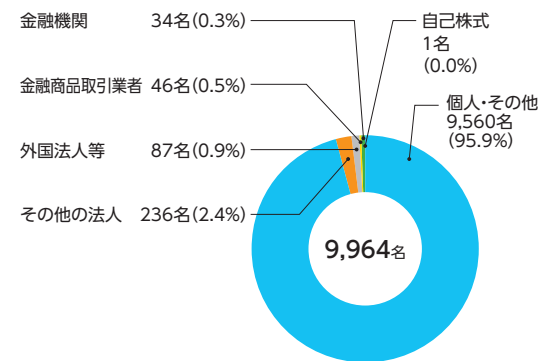
発行可能株式総数 466,406,000株
 発行済株式の総数 148,553,393株
 株主数 9,964名

⇒ 大株主(上位10名)

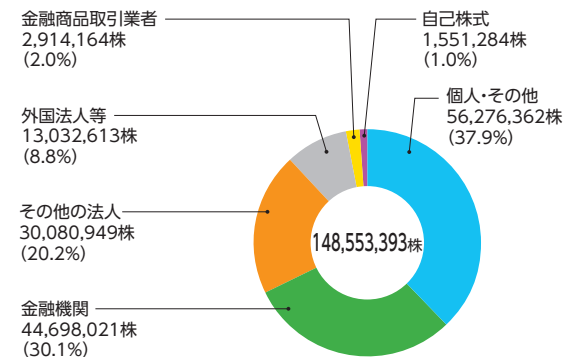
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	7,000	4.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,141	4.1
三菱商事株式会社	5,942	4.0
DNT取引関係持株会	5,854	3.9
東京海上日動火災保険株式会社	5,068	3.4
富国生命保険相互会社	5,002	3.4
株式会社島津製作所	5,001	3.4
田邊康秀	4,437	3.0
三菱UFJ信託銀行株式会社	3,184	2.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,932	1.9

(注)平成27年9月18日の買付をもって自己株式の取得を終了いたしました。
 持株比率は自己株式(1,551,284株)を控除して計算しております。

⇒ 所有者別株主分布状況



⇒ 所有者別株式分布状況



- 商号 大日本塗料株式会社
Dai Nippon Toryo Company, Limited
- 本社 〒554-0012 大阪市此花区西九条6-1-124
- ホームページ URL:http://www.dnt.co.jp/
- 設立 昭和4年(1929年)7月25日
- 資本金 8,827百万円
- 従業員数 657名(連結:2,179名)
- 主要な事業内容 塗料・ジェットインクの製造、販売、
各種塗装機器装置の販売、塗装工事等
- 主要な事業所
 - 大日本塗料株式会社
本社(大阪)、東京営業本部(東京)
那須工場(栃木)、小牧工場(愛知)
東京、名古屋、大阪 他16営業所

- 子会社及び関連会社
 - 【国内塗料】
大日本塗料北海道(北海道)、日塗化学(東京)
千葉化工(千葉)、大東ペイント(神奈川)
日東三和塗料(滋賀)、サンデーペイント(大阪)
DNTサービス(大阪)、ジャパンパウダー塗料製造(大阪)
岡山化工(岡山)、DNT山陽ケミカル(広島)
ビーオーケミカル(福岡)
 - 【海外塗料】
Thai DNT Paint Mfg.Co.,Ltd.(タイ)
DNT Singapore Pte.,Ltd.(シンガポール)
DNT Paint(Malaysia) Sdn.Bhd.(マレーシア)
PT. DNT INDONESIA(インドネシア)
Lilama3-Dai Nippon Toryo Co.,Ltd.(ベトナム)
迪恩特塗料(上海)有限公司(中国)
DAI NIPPON TORYO MEXICANA, S.A. de C.V.(メキシコ)
DNT KANSAI MEXICANA S.A. de C.V.(メキシコ)
 - 【照明機器】
DNライティング(神奈川)、ニッポ電工(秋田)
 - 【蛍光色材】
シンロイビ(神奈川)
 - 【その他】
日塗エンジニアリング(神奈川)、ニットサービス(大阪)

⇒ 役員 (平成27年9月30日現在)

代表取締役社長	岩 浅 壽二郎	執行役員	間 嶋 則 博	常勤監査役	木 原 均
取締役専務執行役員	瀬 古 宜 範	執行役員	小 林 正 樹	常勤監査役(社外監査役)	福 岡 靖 之
取締役常務執行役員	三 角 高 敏	執行役員	今 市 伸 浩	監査役(社外監査役)	藤 井 浩 之
取締役執行役員	里 隆 幸	執行役員	石 渡 正 秀		
取締役執行役員	室 内 聖 人	執行役員	高 松 厚		
取締役執行役員	野 田 秀 吉	執行役員	山 本 基 弘		
取締役執行役員	須 川 哲 夫	執行役員	鹿 田 宏 行		
取締役(社外取締役)	岩 田 哲 夫				